

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談

2. 日時：令和5年2月21日（火）13：30～14：40

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

松田室長補佐、横山係長

東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
  - タービン建屋東側における地下水、排水路及び海水中の放射性物質濃度の状況
    - ✓ 一部上下変動が見られており、特に上昇傾向が見られる地点については引き続き注視していく。
  - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果について
    - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
- 原子力規制庁は、上記説明内容について確認し、東京電力に対し以下の点についてコメントした。
  - ✓ 港湾口海水モニタの全ベータ測定において、天然放射性核種の線源となる採水系統内に付着した海底砂、藻及び貝等を12月20日に除去したことにより、同日以降検出下限値以下となる頻度が増えている。次回面談時にこの清掃間隔（前回清掃からの間隔）を説明すること。
  - ✓ 1号機RCW熱交換器入口ヘッダ配管内滞留ガスパーズに伴う敷地境界における実効線量の評価については、パーズ作業を2月13日に完了しているため、来月の本面談にて評価結果を説明すること。
- 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. その他

資料：

- 環境線量低減対策スケジュール
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2023年1月）
- 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2023年1月評価分（詳細データ）

- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

以上